

第8回 吹田市福祉避難所運営調整会議 内容要旨

1 日時 平成31年(2019年)2月12日(火)14時00分～15時45分

2 場所 吹田市文化会館(メイシアター)1階 集会室

3 出席施設(指定日順)

- ・総合福祉会館
- ・障害者支援交流センターあいほうぶ吹田
- ・内本町デイサービスセンター
- ・亥の子谷地域保健福祉センター
- ・亥の子谷デイサービスセンター
- ・藤白台デイサービスセンター
- ・千里山西デイサービスセンター
- ・グループホーム たんぽぽ
- ・介護老人福祉施設 吹田竜ヶ池ホーム
- ・特別養護老人ホーム みらい
- ・特別養護老人ホーム ハピネスさんあい
- ・特別養護老人ホーム あす～る吹田
- ・特別養護老人ホーム 寿楽荘
- ・介護老人保健施設 ちくりんの里
- ・吹田特別養護老人ホーム 高寿園
- ・地域密着型特別養護老人ホーム 憩～江坂～
- ・特別養護老人ホーム スローライフ千里
- ・特別養護老人ホーム サラージュ南吹田
- ・地域密着型特別養護老人ホーム メヌホット千里丘
- ・介護老人保健施設 吹田徳洲苑
- ・介護老人保健施設 つくも
- ・地域密着型特別養護老人ホーム 離宮千里山 縁
- ・くらしの支援センター みんなのき
- ・救護施設 千里寮

吹田市

- ・福祉総務課
- ・危機管理室

4 新福祉避難所指定施設について

新しく福祉避難所に指定させていただきました「救護施設 千里寮」について、ご紹介させていただき、ご挨拶をいただきました。

5 内容要旨

(1) 前回の会議より

前回の会議でご意見を伺いました「福祉避難所設置・運営マニュアル」につきましては、1月初め、改正したものをご送付させていただきました。

以前から、また送付の際にも施設独自のマニュアルについて作成をお願いしておりますが、既に作成している施設については、市と共有させていただきたいので、ご提出をお願いします。

まだ作成に至らない施設につきましても、昨年のお大阪府北部地震・台風21号等の被

害にも見舞われましたし、喫緊の課題となっているため、「福祉避難所の確保・運営ガイドライン」（内閣府）やご送付しております「福祉避難所設置・運営マニュアル」をご参考に、早急に、6月頃までには作成し、ご提出ください。（紙ベース、データどちらでも可）

（２）福祉避難所開設訓練実施報告

みんなのき（H29.3.18実施）、寿楽荘（H31.1.13実施）の2つ施設から報告をいただきました。

ア みんなのき（H29.3.18実施）

障がい者の地域支援のための施設であるグループホーム。2年半ほど前に開設。参加者；議員、自治会、社会福祉協議会、内本町コミュニティ協議会、障がい者当事者

内容；施設の中の福祉避難所指定場所の区画割、受付、段ボールベッドの設営等を行うなど、訓練時に在室していた障がい者当事者を含め、福祉避難所の開設と避難生活の疑似体験を行った。

訓練を通して、非常に大変なことを引き受けていると実感した。障がい者の避難のあり方や支援者不足、障がいを持っていない人の障がい者への理解の大切さについて考えた。訓練を重ねてブラッシュアップする必要がある。

昨年台風21号の時、施設が停電し、16時時点で、避難する判断に至った。帰宅可能者は帰宅してもらったが、行き場のない6人の方を車で15分ほどの事業所へ避難してもらった。家族の方からは、発電機などの電気の確保は必要だろうとの意見を受けた。

イ 寿楽荘（H31.2.12実施）

目的；30年前から行事などの活動をとおり、自治会会員としてご近所との「絆」をはぐくみ、その絆をベースに、数年前から学びあう関係づくりを進めてきた。そんな中、昨年の地震や台風の自然災害に遭遇し、今回の訓練をご近所の方々と一緒に担うことにより、「災害に強いご近所づくり」を目指した。

想定；施設の車輛が破損し、ご近所の事業所（訓練参加の申し出あり）から車両提供の申し出があったとの想定で、「地域」と「施設」の相互助け合いにより非常事態を乗り切る「絆」づくりを想定とした。

要援護者を中心に段ボールベッドを試用したところ、介護度の重い方から背中が痛いとの申し出があり、布団類が必要であることが分かったが、手すりがないため、自力で体位変換することもできず、また柵がないことで落下防止ができず、改善に向けた工夫が必要であると思った。

ウ 振り返り

(ア) 支援者の不足

平成 30 年 6 月から社会福祉協議会による災害ボランティア事前登録制度が始まり、市としても登録者をもっと増やしていきたい。また、有事の際には、施設間の連携も図ってほしい。

(イ) 段ボールベッド・・・柵がないため、自立できず、転落の危険性もある。

段ボールベッドの仕様としては、柵はない。また、そもそも体育館などでの使用で、寒さをしのぐためでもあるため、一定の高さがある。他の仕様や補完できる情報について収集し、提供していく。(危機管理室)

(3) 福祉避難所緊急連絡名簿について

平成 29 年の年夏の大規模停電時、固定電話が使用できなかったことから、福祉避難所指定施設の横のつながりや連携ができるよう作成しました。共有させていただくことに疑義がないようですが、配付につきまして、緊急時等の連携の目的以外に使用しないこと、取り扱いには十分に注意してください。また、登録の内容に変更があった場合は福祉総務課までご連絡ください。

(4) 福祉避難所の看板について

以前、検討させていただいた時には、一般の指定避難所が周知されていないため、指定避難所の周知からであろうとなっていました。今回、福祉避難所開設時に掲げるものを検討しております。予め市で統一したものを作り各施設に配備しておき、もしもの時に掲示できるようにしてはと考えておりますが、ご意見等お願いします。

ア 知的障がい者のために、看板として見栄え的にはどうかと思うが、「ルビ」をうってはどうか。その他、障がい者のための配慮をお願いしたい。

→合理的配慮ができるよう検討したい。

イ 地域の防災訓練に参加して、地域では、福祉避難所の理解がないと感じた。認知度をあげるために、何かしているのか。

→福祉避難所については、定期的に市報すいたに掲載しているところ。自治会の周知は難しいが、説明は必要であると思う。連絡会等で二次的避難所であるということが説明できるよう、検討する。

外に掲げるものか、内側から見えるように掲げるものにするか、いかがでしょう。今、特にご意見もないようでしたら、平成 32 年度予算化にむけて検討しますので、ご意見・ご要望などがありましたら、今年の夏ぐらいまでをお願いします。

(5) その他

ア 南山田デイサービスセンターの廃止について

今年度末（H31.3.31）をもってデイサービスセンターが廃止になることから、福祉避難所の指定施設としても廃止になります。

イ 防災協定の締結について

避難所生活が長期にわたると想定される場合に、被災者の健康支援のため、市・社会福祉協議会と、吹田市理学療法士会、吹田市鍼灸マッサージ師協会とのそれぞれ三者で「災害時の避難所における人的支援に関する協定」を結びました。

ウ 次回の福祉避難所開設訓練について

総合福祉会館（今までに開設訓練はしてきたが、地域との連携ができていないため）離宮千里山（ちくりんの里と連携して）

では、次回の福祉避難所運営調整会議にて、今回開設訓練が延期となったあす～る吹田を含めて、ご報告をお願いします。

エ 福祉避難所の設備の充実について

来年度、春から夏にかけて、福祉避難所の設備の充実について、調査票の配付を予定しています。必ずと約束のできる物ではありませんが、32年度の予算要求につなげていきたいと考えています。

ほかに、なにかございましたら。

岡山県真備町の福祉避難所で、水害の際、消防署の要請で知的障がい児を受け入れたらしいが、吹田市では、消防との連携はあるのか。

→福祉避難所は二次的な避難所であるため、混乱しないように福祉総務課で振り分けたい。地域防災計画に基づき、消防も認識はしているとは思いますが、特段協議をしたわけではないので、協議しておきたい。

オ 次回の開催日程

一斉合同訓練の日程が未定であります。例年どおり、来年2月上旬頃を予定しています。